

**令和3年度 指定管理者年度総合評価表**  
(令和3年4月～令和4年3月実施分)

作成日	令和4年6月2日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市多賀多目的運動場		
所在地	八戸市大字市川町市川後 55-1		
施設概要	設置目的：震災の津波による住居被害が市内で最も大きかった多賀地区の活力を創出するとともに、最大クラスの津波から被災を免れることを目的として建設された。 構造：鉄筋コンクリート構造 主要施設：管理棟兼津波避難施設、天然芝球技場、人工芝球技場、常設駐車場、多目的広場		
指定管理者	名称	八戸スポーツ・地域振興グループ	
	代表者	株式会社ヴァンラーレ八戸 代表取締役 細越 健太郎	
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字市野沢 35 番地	
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日		
指定管理者の業務	施設使用許可、施設設備の維持管理、その他		
市所管課 (問合せ先)	まちづくり文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興グループ		
	電話	0178-43-9159 (直通)	
	E-mail	sportsshinkou@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	今年度も引き続き新型コロナウイルスの影響により、年間施設利用者数は 67,000 人ほどで前年比横ばいとなり伸び悩んでいるものの、収支については経費節減に努め、黒字を確保した。防災施設としては、例年どおり、当施設の津波避難スペースの見学会開催などで地域の防災体制強化に寄与した。施設の維持管理については、見回りに注力して、施設が壊れる前に直すことを意識したほか、コロナ対策としてスタッフが率先して定期的に館内の消毒作業を行い、利用者が安心して施設を利用できるよう気を配った運営を行うことができた。
今後の目標	依然として新型コロナウイルスの影響が続いていることにより地域の活力は冷え込んでいるが、このような時だからこそ引き続き感染症拡大防止対策に十分注力した上で様々なイベント開催及び招致などに取り組み、利用者数をコロナ前の水準に戻せるように努める。

■市（所管課）の総合評価

評価	新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、施設利用者はコロナ禍前の令和元年度から比べて約4割減少したものの、人件費などを見直して支出を抑え、最終的な収支差額は前年度から約5割程度減少しているものの、黒字を確保している。 一般利用に供する人工芝球技場については、規則上は休場となる冬季期間も、維持管理に支障のない限り貸出しを行い、より多くの利用機会を提供したほか、スポーツ施設としてだけでなく、地域のコミュニティスペースや一時避難施設として、地域との積極的交流を図りながら協力して環境美化を行う等、良好な関係を築いた。
指摘事項	特になし ※施設利用者はコロナ禍前の令和元年度に比べて約4割減少したものの、これは新型コロナウイルス感染症のまん延による施設休止や各大会の自粛など外的要因によるところが大きい。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	規則で定める休場日は毎週月曜日だが、事業計画どおり、第二・第四月曜日の午後のみ休場することで、より少ない休場日で運営し、多くの利用機会を提供した。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容のとおり雇用していた。(2名)
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	地元自治会と連携し、津波一時避難施設としての避難場所・避難経路の周知を図るなど、協働のまちづくりへ貢献した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応(準備)が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の減免	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	今期(令和元年度～5年度)において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期(令和元年度～5年度)において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。(使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。

備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

## 2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	令和3年度については令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、利用者数の実績は施設全体で67,214人となり、前年度実績（67,083人）と比較して131人増加した。
自主事業	○	飲料等の自動販売機を設置し、利用者の利便性向上を図り、利用者の増加に寄与した。また、グラウンドゴルフ大会やナイトヨガ教室を主催し、市民がスポーツに取り組む機会を創出したほか、ヴァンラーレ八戸FCホームゲーム開催時に、4階津波避難スペース展示会を行い、地域の防災意識強化にも寄与した。
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	事業計画どおり、利用者のニーズに応じて、基本的には休場とする12月～3月もできる限り人工芝球技場を貸し出し、利用促進に努めた。（12月～3月までの人工芝利用者 5,608人）

## 3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																									
指定管理業務の収支状況	○	<p>収支計画を達成し、黒字であった</p> <p style="text-align: right;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">収入①</td> <td>利用料金</td> <td>14,850,000</td> <td>17,112,452</td> <td>17,320,308</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>59,523,000</td> <td>59,523,000</td> <td>54,065,000</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス対策補助金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,639,000</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> <td>222</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30,994</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>74,373,000</td> <td>76,635,674</td> <td>78,055,519</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支出②</td> <td>人件費</td> <td>24,719,000</td> <td>23,204,989</td> <td>19,261,527</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>47,866,000</td> <td>44,806,753</td> <td>45,626,088</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>1,788,000</td> <td>2,273,027</td> <td>1,737,497</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>74,373,000</td> <td>70,284,769</td> <td>66,625,112</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入-支出（①-②-③）</td> <td>0</td> <td>6,350,905</td> <td>11,430,407</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利用料金	14,850,000	17,112,452	17,320,308	指定管理料	59,523,000	59,523,000	54,065,000	新型コロナウイルス対策補助金	0	0	6,639,000	雑収入	0	222	217	修繕料繰越金	0	0	30,994	計	74,373,000	76,635,674	78,055,519	支出②	人件費	24,719,000	23,204,989	19,261,527	維持管理経費	47,866,000	44,806,753	45,626,088	事業費・一般事務費	1,788,000	2,273,027	1,737,497	計	74,373,000	70,284,769	66,625,112		次年度修繕料繰越金③	0	0	0		収入-支出（①-②-③）	0	6,350,905	11,430,407
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																							
収入①	利用料金	14,850,000	17,112,452	17,320,308																																																							
	指定管理料	59,523,000	59,523,000	54,065,000																																																							
	新型コロナウイルス対策補助金	0	0	6,639,000																																																							
	雑収入	0	222	217																																																							
	修繕料繰越金	0	0	30,994																																																							
	計	74,373,000	76,635,674	78,055,519																																																							
支出②	人件費	24,719,000	23,204,989	19,261,527																																																							
	維持管理経費	47,866,000	44,806,753	45,626,088																																																							
	事業費・一般事務費	1,788,000	2,273,027	1,737,497																																																							
	計	74,373,000	70,284,769	66,625,112																																																							
	次年度修繕料繰越金③	0	0	0																																																							
	収入-支出（①-②-③）	0	6,350,905	11,430,407																																																							
自主事業の収支状況	○	<p>収支状況は適正であった。</p> <p>収入 1,162,806円 （内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機設置事業収入 732,191円</li> <li>・グラウンドゴルフ大会収入 320,000円</li> <li>・ナイトヨガイベント収入 110,615円</li> </ul> <p>支出 894,646円 （内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機設置使用料 413,280円</li> <li>・グラウンドゴルフ大会運営費 296,746円</li> <li>・ナイトヨガイベント支出 184,620円</li> </ul>																																																									

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ホームページ、SNS、パンフレットにより、積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情処理簿を準備し、利用者から苦情があった場合に記入するように体制が整っていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等は無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者に配慮した声掛けや誘導を行える体制ができていた。

#### ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日、日常業務始業前、適宜施設・設備を目視点検し、設備の不具合の発見に努めた。</li> <li>・ 毎日、適宜施設の見回りをを行い、ゴミを拾って環境美化活動に努めた。</li> </ul>

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	毎月の月例報告、年1回の事業実績及び年間事業計画が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
	実施回数	実施日	実施者	実施内容
		1回	2月16日	担当
実地調査状況	実施結果			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約書名や受理する請求書の宛名について、次年度以降指定管理者の代表者名に統一するよう指示した。</li> <li>・ 利用料金の徴収にあたり、利用者の区分(高校生以下)に応じて、適切に徴収するよう指示した。</li> <li>・ 年間事業計画に記載のある項目に変更が生じた場合は、速やかに届け出るよう指示した。</li> </ul>			